

東 魂



埼玉県立越谷東高等学校
剣道部通信
第19号 2020/11/12

『東部支部高校剣道新人大会を振り返って②』

植竹 未来翔

今回対春日部高校との試合で自分が勝っていたらおそらく勝っていたか、代表戦までもってけたと思いました。合い面で相手に旗が上がったのは自分の打突が弱かったからなのだと感じたので今後意識して個人戦までには改善していきたいです。良かった点で考えると初戦で身体に力が入りすぎずリラックスして出来たことだと思います。この点から確実に自分でも成長できると少し感じました。次の団体戦に向けて仲間と切磋琢磨していき、みんな休むことはあるかもしれませんがもしそういうことがあっても責めずにお互い鼓舞しあって頑張ろうと思います。



小林 瞬也

今回の試合は、私個人だけでなく、部員全員の成長に繋がるいい経験になったと思います。また、礼法や試合内容に反省するべき点は多々ありました。竹刀を落とした時の取り方が雑になってしまった点や慌てて試合をしてしまった部分などがあり、そのせいで負けてしまったのも事実です。大将、主将として余裕のある剣道が出来るように、これからも人一倍努力して稽古に励んでいきたいと思えます。稽古だけでなく私生活の面でも主将らしい行動をし、部員のお手本となるようにします。次の大会では、今回の反省点を改善し、良い結果を残せるようにしたいと思います。

寺田 光

今回の試合は相手に合わせず自分の剣道ができたので良かったです。ただ、返し技をうまく打てない場面が多かったのでこれからは返し技で一本を取れるように意識して練習していきたいと思えます。

亀田 龍飛

今回の大会では自分は試合に出れなかったのですが、その分スタメンの選手たちのサポートをもっと出来たところがあると思えます。試合に出れないならその分やれる事をしっかりと行うようにします。試合出られなかった悔しさを糧に日々の稽古を怠らず、ほかの選手よりも沢山努力して次の試合は補欠ではなく、ちゃんとした選手として出場できるよう頑張ります。



工藤 大直

僕は試合に参加出来ず、動画の撮影をしていましたが、強い高校との試合を見れたことは良かったと思えます。今後の目標は、まず試合に出れるようになる ことです。その為に1回1回の稽古を大切にしていきたいと思えました。